

Full HD 2カメラ ドライブレコーダー

取扱説明書

Ver1.03

DVR-ADASX



ご使用の前に

※ microSDカード内の専用ビューアーと取扱説明書をパソコンなどに保存してからご使用ください。

注意: microSDカードを本体でフォーマットすると専用ビューアーソフトと取扱説明書が消去されてしまいます。専用ビューアーソフトと取扱説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。<http://www.watex-net.com/>

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

目次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
ADAS 機能についての注意事項	6
microSD カードご使用に関する注意事項	7
各部の名称とはたらき	8
内容物の確認	9
取り付け上の注意事項	10
ドライブレコーダーを取り付ける	11
ドライブレコーダーを使う	13
液晶画面の表示について [録画モード]	14
液晶画面の表示について [静止画モード]	15
液晶画面の表示について [再生モード]	16
設定メニュー操作方法	17
設定メニューの一覧	18
フォーマット / 初期化	19
録画の種類	20
microSD カード内ファイル構成	21
車線逸脱警報 / 前方衝突警報	22
ドライバー疲労警告 / ライト点灯忘れ警告	23
製品仕様 / 録画時間の目安	24
【付属】ビューアー説明書	

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を検知して、映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まったりした場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- ADAS 機能 [車線逸脱警報] ・ [前方衝突警報] は、画像により簡易的に行い、楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転を完全にアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がオン状態または、録画中にmicroSDカードを取り出すと記録データとmicroSDカードが破損する可能性があるため注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

ADAS(安全運転支援)機能について

- ご使用する際は、設定メニューで「車線逸脱警報」「前方衝突警報」をオンにしてください。(18ページ参照)
- ダッシュボードの上に置かれたものが前面窓ガラスに反射される場合、正常に動作しない場合があります。
- 車線逸脱警報は、車線表示と道路の端を検出できない場合があります。
(車線が複数重なっていたり、複雑な区間の場合検出できないことがあります)
ウインカーと連動していないため、仕様上、車線変更時にも車線逸脱警報の表示をします。
また、車線変更時には前車を検知しないため、衝突のリスクがある場合でも前方衝突警報は表示しません。
- 前方衝突警報は、画像処理により前車を検知します。紛らわしいシルエットを誤認識して警報を発する場合がありますほか、前車の形状や環境要因が原因で正しく検出できない場合があります。必ず実際の走行中の状況に合わせて運転をしてください。

※本製品の安全運転支援機能は、あくまでドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。またすべての危険を警報するものではありません。

※運転者は走行中に本製品のモニターを注視するなど、前方不注意を行わないでください。

この機能の判断精度は以下の場合に影響を受けますので、あくまで補助的な機能としてご使用ください。

- 空が暗くて灯りが不足しているとき
- 大きなカーブがあるような山道を運転しているとき
- 複雑な車線で構成されているような道を運転しているとき
- 前方車によって、水が飛び散る、雪やホコリが舞い上がったとき
- 嵐を通過中、または霧やホコリの多い場所
- 太陽に向かって運転しているとき
- 日没時、薄明かりが空に残っている場合
- ビルやガードレールの影でマークした線が隠れた場合
- トンネルに入ったときなど、明るさの一時的な変化
- 外部環境の光が著しく変化した場合
- 反射板などからの強い光を受けたとき

microSD カードご使用に関する注意事項

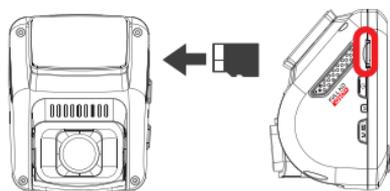
もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを（電源を）オフにして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に関する注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

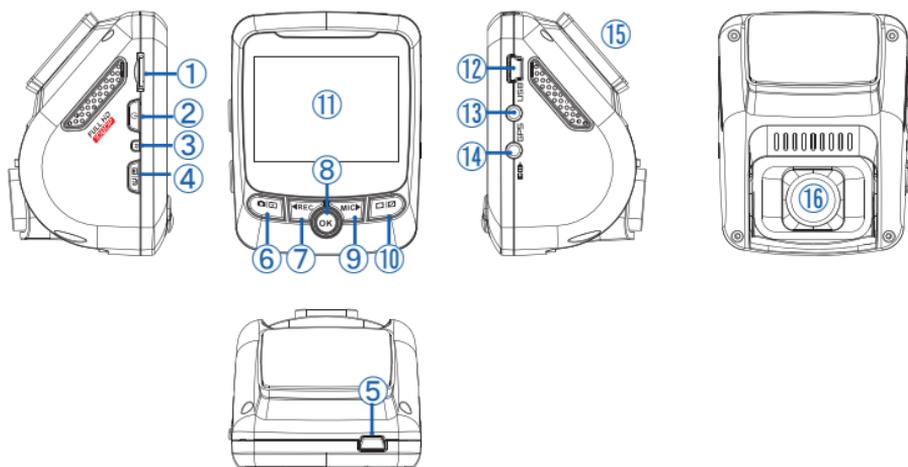
- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。



- 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。（19 ページ参照）
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード（推奨品）への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いません。
- フォーマットは必ず本機で行ってください。

各部の名称とはたらき

本体カメラ



① microSDカードスロット	microSDカード挿入口
② 電源ボタン	長押し：(電源オン時) 電源オフ 短押し：(電源オフ時) 電源オン、(電源オン時) 画面消灯/点灯
③ リセットボタン	システムのリセット
④ メニューボタン	(録画停止時)メニューを表示
⑤ リアカメラ接続端子	リアカメラを接続
⑥ モード切替ボタン	(録画停止時)モードを切り替え[録画モード→静止画モード→再生モード]
⑦ [REC]ボタン	録画停止/録画再開、メニュー項目上移動、 (再生モード時)次ファイル表示、再生中早送り
⑧ [OK]ボタン	録画中のファイルを別フォルダ(RO)に保存、各設定を決定する
⑨ [MIC]ボタン	音声録音オン/オフ、メニュー項目下移動 (再生モード時)前ファイル表示、再生中早戻し
⑩ 画面切替ボタン	画面切り替え (12ページ参照)
⑪ 液晶画面	録画映像や静止画、メニュー、ファイル再生表示
⑫ 電源ケーブル端子(USB)	電源ケーブルを接続
⑬ GPS端子(GPS)	GPSを接続
⑭ AV端子	外部機器に接続
⑮ ブラケットホルダー	ブラケットを装着
⑯ カメラレンズ	カメラのレンズ部

内容物の確認

セット内容

- 本体カメラ



- 取付ブラケット



- 電源ケーブル (配線タイプ)



- リアカメラ + 接続ケーブル



- microSD カード (16GB) & カードアダプター



専用ビューアソフトと取扱説明書が保存されています。

※ microSDカード内の専用ビューアと取扱説明書をパソコンなどに保存してからご使用ください。

- GPS



- 保証書



- かんたんマニュアル

- 取扱説明書

ご使用前に 専用ビューアソフトと取扱説明書はmicroSDカード内に保存されています。

注意: microSDカードをフォーマットすると取扱説明書が消去されてしまいます。
取扱説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。

取り付け上の注意事項

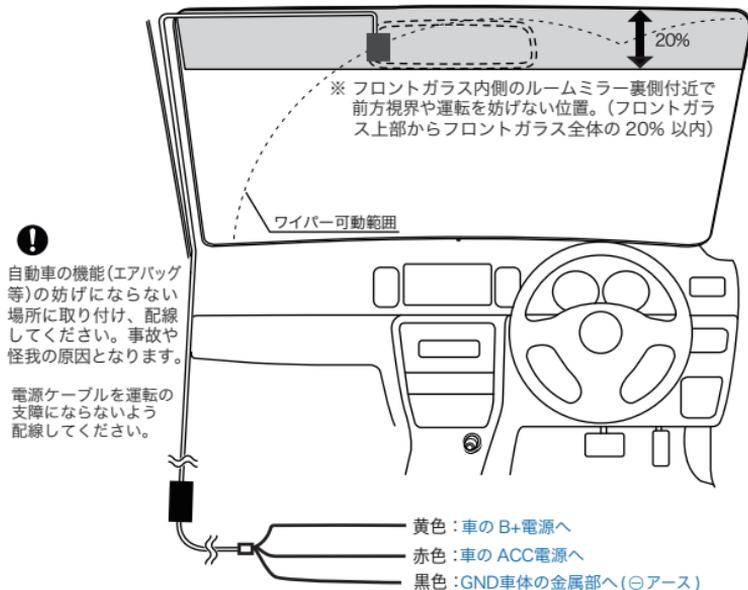
本機は製品特性上、カメラがしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けしてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置は車両フロントガラス上部20%以内の位置で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 付属のmicroSDカードが容易に抜き差しできる位置に取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。また、雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置に取り付けてください。
- スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。

ドライブレコーダーを取り付ける

- 国土交通省の定める保安基準※に適合させるため必ず取付許容範囲内に取り付けてください。
 ※道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第39条、第117条および第195条最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

本体カメラ設置



!
 自動車の機能(エアバッグ等)の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。事故や怪我の原因となります。
 電源ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。

リアカメラ設置

リアガラスの内側中央の最上部付近にカメラを後方に向けて設置してください。



リアカメラを本体カメラと接続してください。

- 本体カメラに接続ケーブルを差し込む



- 本体液晶に表示されるリアカメラ表示の切り替え

※録画映像はすべて正像で保存されます。
 録画映像は切り替えられません。



- ①正像
見たままの映像を表示
 - ②鏡像
バックミラーに映ったように表示
- 本体液晶に映し出されるリアカメラ映像

ドライブレコーダーを取り付ける (つづき)

【仮留め・テスト録画】

しっかり貼り付ける前に、いったん仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしていないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。



【取り付け方法】 ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。



取付ブラケットをスライドして挿入する



ブラケットをのネジを回して角度を調整し両面テープのハクリ紙をはがして貼りつける



レンズの上下左右の角度を調整し、電源、リアカメラのケーブルを配線し micro SD カードを挿入する

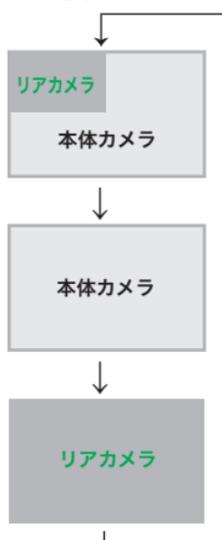
【画面表示切替】【録音 ON/OFF】



画面切り替え

リアカメラ接続時、画面切り替えボタンを押すたびに右図のように画面表示が切り替わります。

画面切り替え



録音 ON/OFF 切り替え

押すたびに録画中の音声録音が ON/OFF します。



ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源がオンになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



❗ microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。

2) 車のエンジンをかける (ドライブレコーダーの電源がオンになります)



エンジンをかけた状態で電源ボタンを 2 秒以上長押しすると電源が切れます。再び、電源ボタンを押すと電源が入ります。電源をオフにすると録画できません。

常時録画

microSD カードの CARDV フォルダ内の Movie フォルダ内に常時録画ファイルが保存されます。

衝撃/手動録画

microSD カードの CARDV フォルダ内の Movie フォルダ内の R0 フォルダにファイルが保存されます。

3) 常時録画を開始

①常時録画

車両のエンジンをかける (本体に電源が入る) と録画を開始します。録画中は、液晶画面上に●が点滅します。[REC] ボタンを押すと録画を停止します。再び [REC] ボタンをおすと録画を再開します。

②衝撃検知による録画 (衝撃録画)

本体内部の G センサーが衝撃を検知すると、Movie フォルダの中に R0 フォルダが作成されファイルが保存されます。すべてのファイルは通し番号で名前が管理されます。(21 ページ参照)
液晶画面上の●の横に  鍵マークが表示されて録画ファイルが保護されます。

③手動録画

録画中、OK を押すと録画ファイルが保護され R0 フォルダに保存されます。
液晶画面上の●の横に  鍵マークが表示され、録画ファイルが保護されます。

④録画停止

録画中 [REC] ボタンを押すと録画停止になります。再び [REC] ボタンを押すと録画再開します。車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。電源オン時に電源ボタンでオフにしても録画を停止します。再び電源ボタンでオンにすると電源が入って録画を再開します。

設定でモーション検知をオンにした場合 ※常時録画停止中のみ作動。おもに停車中などの使用をお勧めします。

- ・電源オン時に [REC] ボタンを押して常時録画を停止後、モーションセンサーが動体を検知したときだけモーション録画を開始します。再び [REC] ボタンを再び押すと常時録画を再開します。

4) 駐車録画 (タイムラプス録画) 録画モードのメニューで駐車録画時間を選択できます。

① オフ エンジンを切ったら録画終了

② 12H エンジンを切ってから最大 12 時間のタイムラプス録画

③ 24H エンジンを切ってから最大 24 時間のタイムラプス録画

※タイムラプス録画はフレーム数 1fps、2fps、5fps を選択できます。
通常の録画は 1 秒間に 30fps で撮影しています。

液晶画面の表示について [録画モード]

5) 液晶画面

ライブ映像画面：本体起動後、録画を開始します。
①の表示が録画モードになり、録画中②が赤点滅します。

[録画モード]



- ① 録画モード表示 ( 録画モード)
- ② 録画中は●赤丸が点滅(録画停止時は非表示)
- ③ WDR表示( オン /  オフ)
- ④ 録画中ファイル保護状態( 保護ファイルのみ表示)
- ⑤ ナイトビジョン( オン /  オフ)
- ⑥ Gセンサー ( オフ /  敏感 /  標準 /  鈍感)
- ⑦ 録画中ファイルの録画時間
- ⑧ 録画解像度 (フロントカメラ+リアカメラの解像度を表示)
- ⑨ 駐車モード ( オン / オフは非表示)
- ⑩ GPS受信表示 ( 未受信 /  受信 /  GPS未接続)
- ⑪ 時速表示 (GPS未接続時は非表示)
- ⑫ microSDカードの状態 ( 挿入 /  未挿入)
- ⑬ 電源の状態を表示 ( 充電中)
- ⑭ 現在の設定日時表示
- ⑮ 1つのファイルの録画時間 ( 1分 /  3分 /  5分)
- ⑯ モーション検知(オフ /  オン)
- ⑰ 明るさ ( +2、  +1、  0、  -1、  -2)
- ⑱ 録音( オン /  オフ)

③⑤⑥⑧⑨⑮⑯⑰⑱は録画中[REC]ボタンで録画を停止後、メニューボタンの録画設定で設定を変更できます。設定メニュー表参照 (18ページ)

液晶画面の表示について [静止画モード]

録画中 [REC] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、メニューボタンを押して静止画モードに切り替えます。

[静止画モード]



- ① 録画モード表示 (静止画モード)
- ② 解像度表示 (1.3M/3M/8M/12M)
- ③ microSDカードの状態 (挿入 / 未挿入)
- ④ 電源の状態を表示 (充電中)

②はメニューボタンの静止画設定で設定を変更できます。
設定メニュー表参照 (18ページ)

[静止画モードの操作方法]

[OK] ボタンを押して撮影します。

※リアカメラ接続時は前後カメラ同時に撮影できます。

[再び録画するときは]

モード切替ボタンを2回押して録画モードに戻り、[REC]ボタンを押して録画を再開します。

液晶画面の表示について [再生モード]

録画中 [[REC]] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、モード切替ボタンを2回押して再生モードに切り替えます。



- ① 再生モード表示 (動画 / 静止画)
- ② 保護されている録画ファイルには 鍵表示
- ③ 録画ファイル名
- ④ 録画解像度表示
- ⑤ microSDカードの状態 (挿入 / 未挿入)
- ⑥ 撮影した日付
- ⑦ 撮影した時間
- ⑧ 電源の状態を表示 (充電中)
- ⑨ 再生状態の表示

※映像・画像の消去や保護はメニューボタンを押して行えます。

【再生モードの操作方法】

[REC] ボタンまたは [MIC] ボタンで再生したいファイルを選択します。

[OK] ボタンで選択したファイルを再生します。

再び [OK] ボタンを押すと一時停止します。

再生中 [REC] ボタンを押すと録画映像を早戻し再生します。

早戻しの速度は [REC] ボタンを1回押すごとに、2倍速 (-2X) / 4倍速 (-4X) / 8倍速 (-8X)

再生中 [MIC] ボタンを押すと録画映像を早送り再生します。

早送りの速度は [MIC] ボタンを1回押すごとに、2倍速 (2X) / 4倍速 (4X) / 8倍速 (8X)

【再び録画するときには】

モード切替ボタンを押して録画モードに戻り、[REC] ボタンを押して録画を再開します。

設定メニュー操作方法

【録画モード中の設定画面】

録画中 [REC] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、メニューボタンを1回押すと録画モード設定、2回押すと共通設定項目に切り替わります。

●メニューボタンを1回押すと録画モード設定

●メニューボタンを2回押すと共通設定



【設定画面の操作方法】 ※[REC] 上移動、[MIC] 下移動

[REC] または [MIC] ボタンで項目を選択します。[OK] ボタンで選択を決定します。
[REC] または [MIC] ボタンで設定を変更し [OK] ボタンで決定します。

設定終了後、メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。録画を再開するときは [REC] ボタンを押してください。

【静止画モード・再生モード中の設定画面】

録画中 [REC] ボタンを押すと録画を停止します。

モード切替ボタンで各モードに切り替えてからメニューボタンでメニュー設定画面を表示します。

メニューボタンを2回押すと、共通設定画面になります。

静止画モード・再生モードの設定画面の操作方法も上記の【設定画面の操作方法】を参照してください。



設定画面の設定項目一覧は次ページ参照

設定メニューの一覧

【設定メニュー】

録画を停止後、各モード中にメニューボタンでメニュー設定画面を表示します。
メニューボタンを2回押すと、共通設定画面になります。

設定画面	設定項目	詳細	初期値	
録画モード 	解像度	2カメラ時	FHD+FHD、FHD+HD、HD+ HD	FHD+FHD
		1カメラ時	FHD、HD	FHD
	常時録画	1分 / 3分 / 5分	1分	
	ナイトビジョン	オフ / オン	オン	
	WDR	オフ / オン	オン	
	明るさ補正	2(明るい)/1(やや明るい)/0(標準)/-1(やや暗い)/-2(暗い)	0	
	モーション検知	オフ / オン	オフ	
	音声録音	オフ / オン	オン	
	日時表示	オフ / オン (録画映像に日付表示)	オン	
	Gセンサー	オフ / 鈍感 / 標準 / 敏感	標準	
	駐車録画時間	オフ / 12h / 24h	12h	
	車線逸脱警報	オフ / オン	オフ	
	前方衝突警報	オフ / オン	オフ	
	駐車録画フレーム数	5fps / 2fps / 1fps	1fps	
静止画モード 	解像度	1.3M / 3M / 8M / 12M	12M	
	日時表示	オフ / 日付 / 日時	日時	
再生モード 	消去	現在のファイルを消去 / すべてのファイルを消去	-	
	保護	現在のファイルを保護 / 現在のファイルの保護解除 / すべてのファイルを保護 / 全てのファイルの保護解除	-	
共通設定 	日時	手動設定画面 (GPS 接続時は自動設定)	-	
	操作音	オフ / オン	オン	
	AV 出力	NTSC/PAL	NTSC	
	周波数設定	50Hz / 60Hz	50Hz	
	画面消灯時間	オフ / 1分 / 3分 (オフは消灯しない、*分後画面消灯)	オフ	
	フォーマット	キャンセル / OK	-	
	初期化	キャンセル / OK	-	
	ドライバー疲労警告	オフ / 1時間 / 2時間 / 4時間	オフ	
	ライト点灯忘れ警告	オフ / オン	オフ	
	バージョン	バージョン表示	-	

フォーマット / 初期化

フォーマット micro SDカードをフォーマットします。

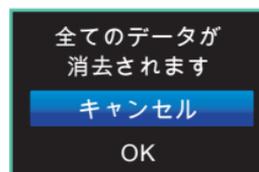
録画中 [REC] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、メニューボタンを2回押して共通設定画面に切り替えます。

メニューボタンを2回押すと共通設定



[MIC] ボタンで下移動し、「フォーマット」を選択し、
[OK] ボタンで選択を決定します。



[REC] または [MIC] ボタンで OK を選択して [OK] ボタンで決定するとフォーマットを開始します。



注意

フォーマットすると microSD カードの記録ファイルは、全て消去されます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

※ 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。

※ microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カードへの交換をお勧めします。

長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。

※ microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いません。

初期化

共通設定の初期化を選択して設定を工場出荷状態の初期値に戻します。

録画中 [REC] ボタンを押すと録画を停止します。

録画停止後、メニューボタンを2回押して共通設定に切り替えます。

[MIC] ボタンで下移動し、「初期化」を選択し、[OK] ボタンで選択を決定します。

[REC] または [MIC] ボタンで OK を選択して [OK] ボタンで決定すると初期化されます。

録画の種類

電源オンで常時録画＋衝撃録画がスタートします。

常時録画

電源オンからオフまで常に録画を続けます。容量がいっぱいになったら古いファイルから上書きされます。

録画ファイル ※録画の1ファイルの時間は約1分、3分、5分から選択可能



衝撃(手動)録画

衝撃時（Gセンサーが衝撃を検知したとき）や手動録画ボタンを押したときは、保護ファイルとしてROフォルダに保存します。

※各ファイルの名前のルールや保存先ファイルなどについては次ページ参照

【注意事項】

- ・ 録画中は microSD カードを取り外さないでください。
- ・ microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画データの古いファイルから新しいファイルが上書きされ録画を続けます。保護ファイルの領域もいっぱいになるとその領域内で古い保護ファイルが新しい保護ファイルに上書きされます。定期的に必要なファイルは保存してください。

電源オフで常時録画＋衝撃録画を終了します。

駐車モード タイムラプス録画のみ 【※駐車録画時間：12Hまたは24Hの時】

車両のエンジン停止後、タイムラプス録画を開始します。

駐車モードは、常時電源から電源を供給するため、カーバッテリーの充電状況が万全でない状態で使用すると駐車録画が途中で中断することがあります。

※12V車は、電圧が11.8V以下になると電源が自動的にOFFになります。

※24V車は、電圧が23.6V以下になると電源が自動的にOFFになります。

○駐車モードの録画可能時間について [録画設定/駐車録画時間]

オフ、12、24時間の時間設定ができます。【初期設定 オフ】

○駐車録画のフレーム数について [録画設定/駐車録画フレーム数]

1fps、2fps、5fpsより選択 【初期設定 1fps】

1fpsとは

1秒に1枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画が行えます。(フレーム数 2fps は1秒に2枚、5fps は1秒に5枚)

[注意事項] 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

microSD カード内ファイル構成

microSD カードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルが保存されます。



フォルダ構造

CARDV

Movie

※動画ファイルの名前は、日付(西暦_年月_時分秒_)+通し番号が採番され、+(A=本体カメラ、B=リアカメラ)でファイル名になります。

2018_1025_112940_001B.MP4 ●リアカメラでの常時録画ファイル(B)
2018_1025_112940_002A.MP4 ●本体カメラの常時録画ファイル(A)
2018_1025_113041_003A.MP4
2018_1025_113041_004B.MP4
2018_1025_113141_005B.MP4
2018_1025_113142_006A.MP4
2018_1025_113242_007A.MP4
2018_1025_113242_008B.MP4
2018_1025_113342_009A.MP4
2018_1025_113342_010B.MP4
2018_1025_113644_015A.MP4
2018_1025_113644_016B.MP4
2018_1025_113745_017A.MP4
2018_1025_113745_018B.MP4

RO

RO フォルダの中のファイルは衝撃ファイル(手動での保護も含む)

2018_1025_113443_011A.MP4 ●本体カメラ衝撃録画(保護)ファイル
2018_1025_113443_012B.MP4 ●リアカメラ衝撃録画(保護)ファイル
2018_1025_113544_013A.MP4
2018_1025_113544_014B.MP4

Photo

※静止画は photo フォルダ内で日付 + 通し番号が採番されファイル名になります。

2018_1025_094636_001.JPG
2018_1025_094637_002.JPG
2018_1025_094639_003.JPG
2018_1025_094639_004.JPG
2018_1025_094641_005.JPG

(例1) 2018_1025_112940_001B.MP4

2018年10月25日11時29分40秒にフォーマットしてから001番目に常時録画したファイル(B=リアカメラ)

(例2) 2018_1025_113443_011A.MP4【ROフォルダに保存されている場合】

2018年10月25日11時34分43秒にフォーマットしてから2番目に録画し、保護したファイル(A=本体カメラ)

(例3) 2018_1025_094636_001.JPG

2018年10月25日9時46分36秒に電源を入れてから1番目にどちらかのカメラで静止画撮影したファイル

車線逸脱警報 / 前方衝突警報

設定メニュー（18ページ）の録画モード設定で、
[車線逸脱警報]と[前方衝突警報]をオンにした場合、
右画面のように赤十字が表示されます。

下記の条件になると、警告画面が表示されます。



車線を逸脱した時



車線逸脱警報[オン]

前車に接近している時



前方衝突警報[オン]

ドライバー疲労警告 / ライト点灯忘れ警告

ドライバー疲労警告

設定メニュー（18ページ）の共通設定で、「ドライバー疲労警告」を1時間/2時間/4時間に設定した場合、電源オンした後、設定時間経過することに警告音が鳴ります。

警告音「ピッピッピッ・・・」としばらく鳴りつづけます。

ライト点灯忘れ警告

設定メニュー（18ページ）の共通設定で、「ライト点灯忘れ警告」をオンにした場合、夜間や暗い場所でライト点灯していないと判断した時に、下記警告画面が表示され警告音が鳴ります。



警告音「ピッピッピッ」

製品仕様 / 録画時間の目安

■DVR-ADASX仕様

●外形寸法	本体：約63(W)×78(H)×50(D)mm (ブラケット除く) リアカメラ：約60(W)×40(H)×60(D)mm		
●重量	本体：約100g (ブラケット除く) /リアカメラ：約43g		
●液晶サイズ	2.4インチ		
●カメラ	前方カメラ：200万画素C-MOSセンサー (センサー sony323、F値 2.0) リアカメラ：200万画素C-MOSセンサー (センサー sony323、F値 2.0)		
●画角	前方カメラ：水平139°/垂直93°/対角170° リアカメラ：水平139°/垂直61°/対角170°		
●スピーカー出力	ON/OFF可	●電源電圧	DC5V
●消費電流	約1A	●バックアップ電源	あり (スーパーキャパシタ)
●録画保存種類	常時録画 (1分/3分/5分)、イベント録画(衝撃/手動)、モーション録画		
●記録データ	映像、音声、GPS情報 (緯度経度、車速)、Gセンサー情報 (3軸)		
●映像ファイル形式	MP4	●静止画ファイル形式	JPG
●映像再生	本体液晶、PC専用ビューアー (windows7/8/8.1/10)		
●録画解像度/ 録画フレーム数	【本体カメラ】200万画素：1920×1080/28fps変調 100万画素：1280×720/28fps変調	【リアカメラ】200万画素：1920×1080/28fps変調 100万画素：1280×720/28fps変調	
●LED信号対応	50Hz/60Hz	LED信号対応	
●駐車監視モード	オフ/12h/24h(タイムラプス録画)		
●電源断録画	電源断後1秒保証：スーパーキャパシタ内蔵		
●GPSセンサー	外付けGPS (2m)	●モーション検知	ON/OFF可
●WDR	ON/OFF可	●ナイトビジョン	ON/OFF可
●Gセンサー	オフ/鈍感/標準/敏感	●音声録音	ON/OFF可
●対応SDカード	microSDカード16~128GB/class10以上	●SDカード管理	定期的フォーマット必要、FAT32
●ADAS機能	衝突/車線逸脱警報	●バッテリー保護	あり
●保存温度	-20℃~75℃	●動作温度	0℃~65℃
●付属品	ブラケット、リアカメラ、5m配線電源ケーブル (ACC、B+、GND、電圧監視機能付) 9mリアカメラ接続ケーブル、microSDカード (16GB)、GPS、かんたんマニュアル、保証書 ※取扱説明書と専用ビューアーは付属のmicroSDカード内にデータ保存		

・本表の記載は、一般社団法人ドライブレコーダー協議会の表示ガイドラインに基づいています。

■microSDカードの録画時間の目安です。(microSDカード16GB付属)

※撮影の状況などによって変動する場合があります。

1カメラ時 (FHD)					1カメラ時 (HD)				
microSD	16GB	32GB	64GB	128GB	microSD	16GB	32GB	64GB	128GB
録画時間	約190分	約380分	約760分	約1520分	録画時間	約280分	約560分	約1120分	約2240分
2カメラ時 (FHD+FHD)					2カメラ時 (HD+HD)				
microSD	16GB	32GB	64GB	128GB	microSD	16GB	32GB	64GB	128GB
録画時間	約95分	約190分	約380分	約760分	録画時間	約140分	約280分	約560分	約1120分



専用ビューアーソフト



ビューアー説明書

目次

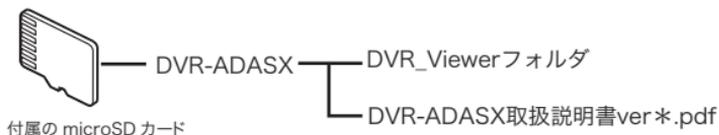
準備しましょう

ビューアーのインストール方法	3
----------------------	---

使ってみましょう

基本操作	5
ビューアー画面の見方	6

専用ビューアーソフトと取扱説明書は、付属のmicroSDカードに保存しています。



付属の microSD カードをフォーマットすると取扱説明書が消去されてしまいます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをお勧めします。

※ 付属の microSD カードを紛失、フォーマットしてしまった場合は、弊社ホームページより専用ビューアーソフトと取扱説明書をダウンロードしてください。

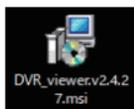
ビューアーのインストール方法

付属の microSD カードにビューアーが保存されています。

- 1 専用ビューアーが格納された付属の microSD カードをパソコンにセットし、DVR-ADASX フォルダの中の、「DVR_viewer.v*.*.msi」をダブルクリックする



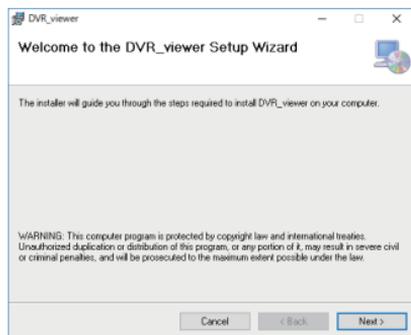
- 2 ダブルクリック後、以下のような案内が表示された場合、実行を選択する



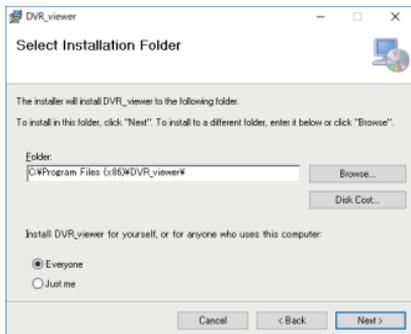
ダブルクリック



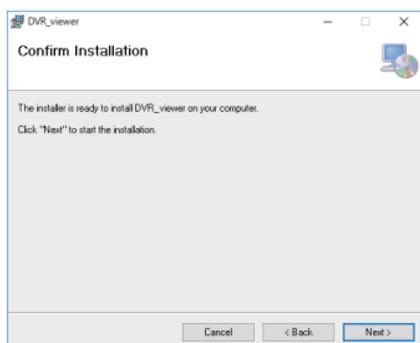
- 3 セットアップ画面が表示されたら、インストール先フォルダを確認して、[NEXT]ボタンをクリック



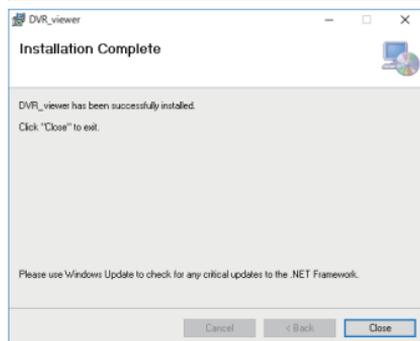
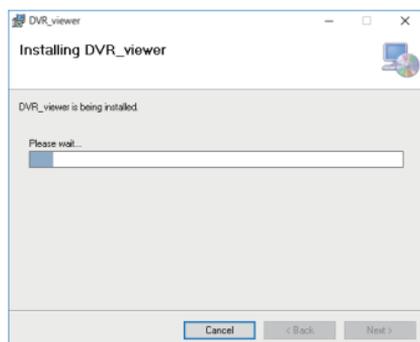
- 4 スタートメニューに表示されるフォルダ名を確認して、[NEXT]ボタンをクリック



5 インストール画面が表示され
[NEXT]ボタンをクリックして
インストール開始



6 インストール完了後、
[Close] ボタンをクリック



7 ショートカットがパソコンの
デスクトップ上に作成される



基本操作

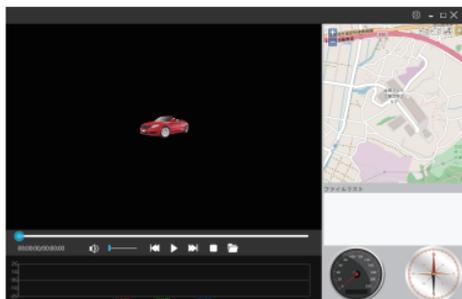
ビューアーの起動

- 1 インストールした専用のビューアーソフトのアイコンをダブルクリックしてビューアーを起動する

ダブルクリック



専用ビューアーのアイコン



専用ビューアーが起動します。

ファイルの読み込み

ドライブレコーダーで録画したファイルが読み込みます。あらかじめ録画ファイルが入ったmicroSDカードを用意しておきます。

- 1 録画ファイルの入ったmicroSDカードをパソコンにセットする

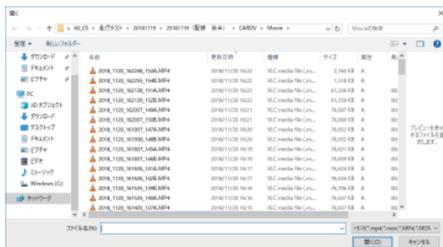
- 2 ビューアーを起動する



- 3 ビューアーの下の  をクリックし、再生したい動画ファイルを選択する



選択したフォルダの録画ファイルがファイルリストに表示されます。



ビューアー画面の見方

ビューアー画面について



① 再生画面：録画映像を表示（ダブルクリックすると拡大表示）

② シークバー：現在の再生位置を表示、変更操作可能

③ 再生時間

④ ボリューム：音量調整

⑤ 再生操作ボタン：◀◀ 1つ前のファイル、||/▶▶ 一時停止/再生

▶▶ 1つ後のファイル、■ 停止、📁 録画フォルダを選択※

⑥ Gセンサー表示

⑦ マップ：撮影場所の位置情報を表示

⑧ ファイルリスト（リストの中から再生したいファイルをダブルクリック）

⑨ 速度・走行方向

※選択したフォルダからすべての録画ファイルがファイルリストに表示されます。



株式会社ワーテックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係



0120-25-3930

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30

(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)